



~~~~~  
そうです。係活動は、子どもたちが自分たちの学級・学校をよりよくするための自発的・自治的な体験活動なのです。そのために、係活動を通して、自分たちでどんな活動をしたらよいかを考え、いくつかの考えからよりよいものはどれかを判断し、それらを実践に移していくといった体験を積ませる必要があるというわけです。なお、子どもたちには、説明するというよりも、活動を通して気づかせていく方がよいと思います。

-----  
2 係活動を作ろう  
-----

次に、係活動を作り出す手順を示したいと思います。

先に述べたように、係活というものは、子どもの自発的であり自治的な活動です。そこで、係を作る場面においても、その精神が生かされるように工夫したいものです。

-----  
(1) どんな係があったらいいかな？～係作りをしよう！～  
-----

例えば次のように投げかけ、子どもたちと話し合います。

T： 学級目標をめざして、よりよい学級をつくっていかうと思います。どんな係があったらいいでしょうか。

C： 新聞係。みんなが読みたくなるような新聞を書くといいと思います。

C： 保健係がいいです。具合の悪い人のお世話をします。

C： なかよし遊び係をつくりたいです。

C： クイズ係があったらいいです。クイズ大会をしましょう。

ここで、子どもたちに係を考え出させるためのポイントを紹介します。

<ポイント1>『係名のこだわらせない』

係を決める最初のポイントは、子どもたちから出させる係の種類は、『係名にこだわらない』ということです。例えば、「なかよし遊び係」ではなく、「みんなで遊びをつくってそのお世話をする係」でもよいということです。

<ポイント2『自分がやってみたいことを想起させる』>

2つ目のポイントは、『自分がやってみたいことを想起させる』ということです。係名を出させるといっても、経験が少ない場合には、すぐ出てくるものではありません。そこで、「どんな活動が学級にあったら楽しいかなあ」とか「自分がやってみたいこと、やれることを中心に考えてごらん」という声かけをしてみてください。いろんな活動が考え出されてくると思います。

<ポイント3『必要に応じて、教師が情報を与える』>

それでもなかなかつくりたい係が出ないことがあります。そこで、3つ目のポイントは、『必要に応じて、情報は教師が与える』ということです。「他のクラスには〇〇係というのがあったよ」とか「先生の学級に昔〇〇係というのがあったね。その係はね・・・

・・」というように、具体的に教えてあげるといいですね。

---

### (2) どの係でやってみたい？～所属する係を決定しよう！～

---

私はよく子供たちに次のように投げかけています。

T： 学級でつくりたい係が決まりました。これから、誰がどの係を担当するかを決めていきます。自分がやってみたい係を言ってみましょう。

ここでよくやられる方法は、それぞれの係の構成人数を始めに決めてしまうことです。例えば「歌係は5人でやります」というようにです。しかし、これはやらない方がいいですね。人数を制限してしまうと、最終的にジャンケンやくじで所属を決めることになり、希望しない係になったりと子どもの意欲は激減してしまうことがあります。

ですから、全員を入りたい係に入れるのです。

ただし、構成人数を決めないと、次のような問題が起ることがあります。それは、ある係に多くの子供が集中してしまう問題と、誰も所属希望のない係が出てきてしまうという問題です。このような場合、どのように対応していけばよいのでしょうか。

<ある係に多くの子供が集中した場合>

それもよしとします。しばらく活動させてみましょう。子どもたちが活動しにくいと感じた時、仕事の内容によって係を2つ以上に分けるとか、新しい係に発展させるとかの工夫をするような助言をしてあげればいいのです。

例) 新聞係・・・スポーツ新聞係と遊び新聞係に分ける。

遊び係・・・イベント係に発展させる。

<誰も所属希望のない係が出てきた場合>

誰も所属希望がないということは、その係が子どもたちにとって必要ないと判断されたわけですので、無理して残す必要はないと思います。なぜなら、前に述べたように係は「なくても誰も困らない」ものですから。

※ここで一言!※

『4月になったらすぐに係活動をつくらなければならない』という決まりがあるかのように思われている方が多いようですが、あわてる必要はありません。係という形を整えるより、ほかに解決すべき問題がある場合は、そちらを優先させるべきでしょう。また、初めからユニークな係ができるとも限りませんので、当番的なものから少しずつ移行していくという方法も可能です。

---

### (3) 具体的にどんな活動をするの？～係の活動計画カード作り～

---

所属する係が決まったら、いよいよ活動計画づくりに入ります。活動計画カードは、ポスターづくりというに進めます。

\*\*\*\*ポスターに書かせたいこと\*\*\*\*  
・係の名前 ・メンバー ・活動内容 ・みんなへのお願いやお知らせ  
\*\*\*\*

#### ☆係の名前についてのひと工夫

「〇〇係」というのでも問題ないのですが、せっかく取り組むのですから名前にも工夫させてみるといいでしょう。その名前によって、活動の仕方に微妙に変化がおこることがあります。

[ネーミング例] : 〇〇株式会社    〇〇友の会    〇〇サークル  
                         〇〇会            〇〇省            〇〇隊  
                         〇〇クラブ       〇〇研究会

「友の会」を作った時には、子どもたちの発案で『規約』ができましたし、「株式会社」を作った時には、『学級マネー』や『銀行係』というができました。

#### ☆活動内容を考える際のひと工夫

主にどういう活動をするのかを考えさせます。ここで、常時活動とイベント活動に分けて考えさせるといいですね。

#### ☆係への所属感を高めるひと工夫

係のメンバーを写真を添えると名前だけよりぐんと所属意識が芽生えます。また教師も他の係の子どもたちにも分かりやすく、お互いの声かけがしやすくなります。

出来上がったポスターは、教室に掲示しておきましょう。

今回は、係活動とそのスタートの工夫について、まとめてみました。これらは、どちらかというと高学年向けの工夫です。次号では、低学年向けの工夫をまとめてみようと思います。

---

### 3 メルマガ情報交換広場

---

さっそく学級目標についての情報が入ってきました。

山口県防府市の先生からの投稿です。

4年生の担任で、学級目標は「エヒメアヤメズ」だそうです。

え 笑顔いっぱい

ひ 光る一人一人

め めざせ〇〇ナンバーワン（〇〇には学校名が入ります）

あ あいさつ明るい

や やさしさあふれる

め いじめをおこさない

ず するべき仕事はする

「えひめあやめ」というのは、その学校のある地域の天然記念物だそうです。

二つ目は、山口県周南市の先生からの投稿です。  
5年生の担任で、学級目標「スマイル」だそうです。

- ス すてきな笑顔
- マ まんまるであたたかい心
- イ いっしょうけんめい取り組む態度
- ル ルールを守る姿勢

みなさんの学級で今年作られた「学級目標」について投稿をお願いします。

- ア：お名前と所属
- イ：本年度の学年
- ウ：どんな学級目標をつくられましたか？
- エ：学級目標にかかわること（エピソードや学級目標の意味など）

~~~~~

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？  
学級目標以外に、情報交換したいテーマがありましたら、下記アドレスまでメールでお知らせください。  
☆ sugi-net@c-able.ne.jp

~~~~~

#### 4 メルマガ編集部からのお知らせ

~~~~~

##### ◆次号の予告◆◇◆

第6号は5月中旬ごろ発行予定です。  
次号では、「低学年の係活動」「学級目標の生かし方」について紹介します。

##### ◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は70名です。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいと思います。  
お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。  
登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン  
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで  
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部  
山口県山口市立平川小学校 梶田 崇晴  
=====